

入学によせて

～平成26年度入学式式辞より～

理事長・学校長

小林 玉枝



学校法人 小林学園 本庄東高等学校附属中学校

きりぐるま

第38号

希望の光あふれる今日、ここに入学式を挙行し、一〇九名の新入生を迎えることが出来ました。新入生の皆さん、入学おめでとう。ここから始まる中学校生活には、皆さんの未来につながる夢の扉がたくさん用意されています。その扉の一つひとつを開けるのは皆さん自身です。そして、夢の扉を開けるためのカギは、全員が持っています。それは、「素直な心」です。附属中学校での学校生活には、多くの学びの機会があります。学習や部活動、あるいは校外研修や体育祭、学園祭など、何をやる時にも、いつも「素直な心」で向き合ってください。物事は、素直に向き合うことによって、その大切な部分が分かります。「素直な心」であらゆるものから、一つでも多くのことを学び取って欲しいと思います。

さらに、毎日の生活の中で触れ合う家族や先生方、あるいは友達など、まわりの人たちに對しても、「素直な心」で接するように心がけましょう。人の気持ちは、自分の態度によっても変わります。素直な気持ちで向き合えば、まわりの人もより大切にしてくれるはずで、そして、まわりの人たちの応援があれば、自分の持っている力をよりいっそう引き出すことが出来るはずです。皆さんは決して一人ではありません。「素直な心」を持って、自分のまわりの人たちとたくさん話をするようにしましょう。

私たちは、自分のすぐそばに居る人のことでも、実はあまりよく分かっていないものです。人の心の中は、その人がたとえどんなに近くに居ても、分からないことが多いのです。相手の気持ちを想像してみなければ、その人の思っていることは分かりません。毎日の生活の中で、自分のまわりに居る人のことを思いみるように心がけましょう。

それが人を思いやるということとです。皆さんには、「素直な心」とともに、「思いやり」の心を持って、まわりの人を大切に出来る人になってもらえようように願っています。

さて、保護者の皆様には、お子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。中学生という多感な年頃でもあり、お慶びとともに、一方でご心配も尽きないことと存じます。学校と致しましては、保護者の皆様との連携を密にしつつ、総力を挙げて教育に当たる所存でおります。三年間の学園生活につき、ご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに当たり、本日ご臨席を賜りましたご来賓ならびに保護者の皆様へ感謝申し上げます。同時に、新入生の学園生活が実り多いものとなることを願い、式辞と致します。

何事にもチャレンジする心

中学校教頭 小柏 茂夫



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんのご入学を心から歓迎いたします。全校生徒・教職員は皆さんの入学を楽しみにしていました。一月十一日からの入学試験を見事突破し、入学することとなった訳です。努力は必ず報われるものです。受験勉強に取り組み、受験という関門に挑戦し、合格した時の感動を忘れないでください。一回目より二回目と、受験に慣れていくことにより、自信を持って解答できたと感じます。その経験は皆さんの宝物です。

高校生の先輩たちも素晴らしい実績を残して学園を巣立ち、その先輩に続けと、六期生が自己実現に向け、高校に進級していきました。新入生の皆さんも、今日から本校の生徒として自覚と誇りを持ち、日々を充実させ、自己を鍛え直し、先輩たちを追い越せるよう頑張ってください。

中学校生活は大きく変化します。日々学ぼうとする知識欲旺盛な心が必要で、忙しい生活の中で、自己のリズムを確立し、何事にも挑戦する生徒へと成長して下さい。きつと充実の笑顔があるでしょう。



二月七日(金)、栃木県の益子にある益子窯元「つかもと」にて、窯工場の見学と抹茶碗作りをした。

陶芸体験(二年生)

普段触れることのない陶芸をやってみて、楽しさや奥深さを理解できてよかった。どんな形にするかを友達と相談したり考えたりして自分のオリジナルの作品ができました。粘土で棒を作って積み上げていく作業が難しく、あまり納得がいきませんでした。また機会があればもっと上手に作りたいし、ろくろにも挑戦してみたいです。

(大熊 麻友)



二月五日(水)、一年生の茶道体験が行われた。半年前との変化を感じ、茶道の奥深さを学べたようである。今回で二回目となった茶道体験。まず驚いたのはお花や掛け軸が前回と違っていたことです。季節に合わせて変えていることに感動しました。また、「最近では外国人の方が和の心に触れる機会が多い」という先生のお話には考えさせられました。確かに、家は畳で正座することもない

茶道体験(一年生)

し、和食を食べることも多くありません。これからは、和の心を忘れず、日本人としての誇りを持ちたいです。

(根岸 快斗)



三月八日(土)、各クラスが日々の練習の成果を披露した。中学校生活最後の合唱コンクールは、過去二年間とは違い、全てのことをクラスだけで行っていた。また、選んだ曲も難しく、本番までの練習は不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、それがあったからこそ互いに意見し合い、励まし合って最優秀賞を勝ち取るこ

とができたのだと思います。合唱を通してクラスの団結力が高まり、最高の思い出となりました。

(小林 駿太)

最優秀賞	3年1組
優秀賞	2年1組
3位	1年1組

私立受験ははじめの一歩!!

入試問題分析会(6年生対象)

附属中入試準備会(5年生以下対象)

5/10(土) 14:00~16:00

皆様のご来校を心よりお待ちしております!



特別授業(三年生)

三月十一日(火)に三年生が放射線についての特別授業を受けました。座学だけではなく、実験をしたり、放射線を測定したりしたことで、放射線を身近なものに感じることができました。また、原発への問題意識も高まりました。